

キャリアチケット就職

PRODUCED BY Leverages

内定式直前、27卒の4割超が「内定ブルー」
複数社の内定式参加を予定する声も

【27卒】就活実態調査

【27卒】就活実態調査

27卒の4割超が「内定ブルー」
複数社の内定式参加を予定する声も



キャリアチケット

レバレッジズ株式会社が運営する新卒学生向けキャリア支援サービス「キャリアチケット就職（<https://careerticket.jp/>）」は、2027年3月卒業予定の大学生・大学院生351名を対象に就職活動の実態調査を実施しました。

記事全文はこちらからもご覧いただけます。
<https://careerticket.jp/media/article/2866/>

<調査サマリー>

1. 8月末の27卒就活終了率は66.1%、早期開始層の就活期間は平均9.3か月で「早期化＝早期終了」ならず
2. 就活継続層の4割超が「現時点で28卒枠へのシフトを検討」、内定式への複数社参加を予定する声も
3. 現在「内定ブルー」を実感している学生は4割以上、主な要因は「周囲との比較」や「SNSや口コミ上のネガティブな噂」

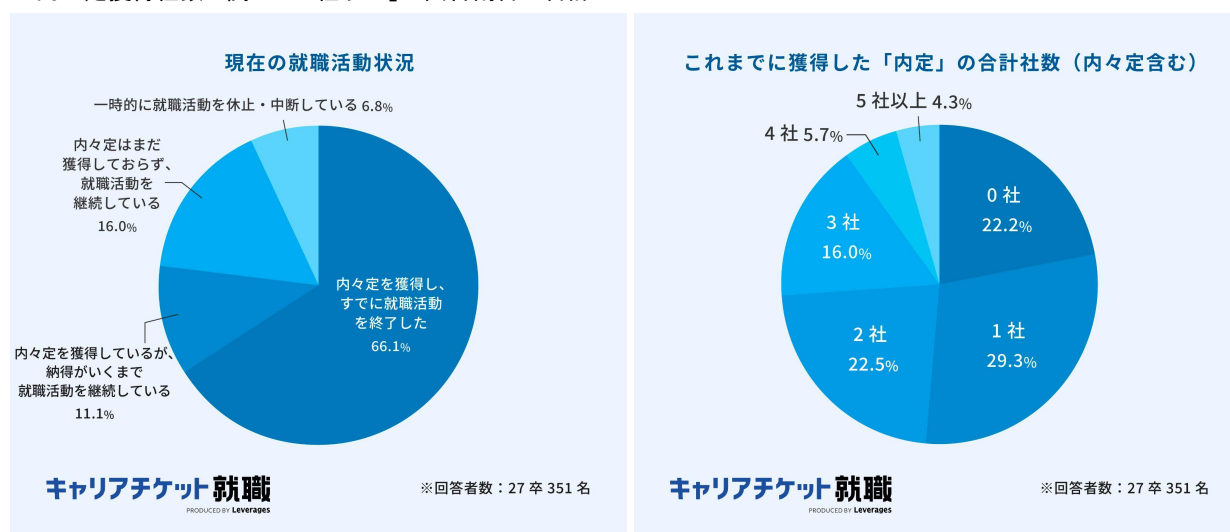
1.8月末の27卒就活終了率は66.1%、早期開始層の就活期間は平均9.3か月で「早期化＝早期終了」ならず

2027年卒の学生に現在の就職活動の状況を聞いたところ、「内々定を獲得し、すでに就職活動を終了した」と回答した学生が66.1%となり、大学4年の8月末時点で7割近くの学生が就活を終えていることがわかりました。

また、8月末時点の27卒の全体の内々定獲得率は77.8%*1に上り、全体で見ても約半数(48.5%)*2が複数社(2社以上)の内々定を獲得しています。

*1 内々定獲得社数に関して「1社以上」の回答割合の合計

*2 内々定獲得社数に関して「2社以上」の回答割合の合計



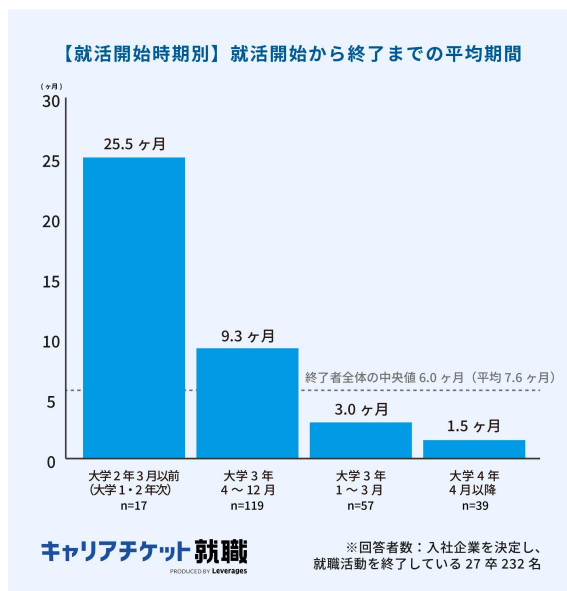
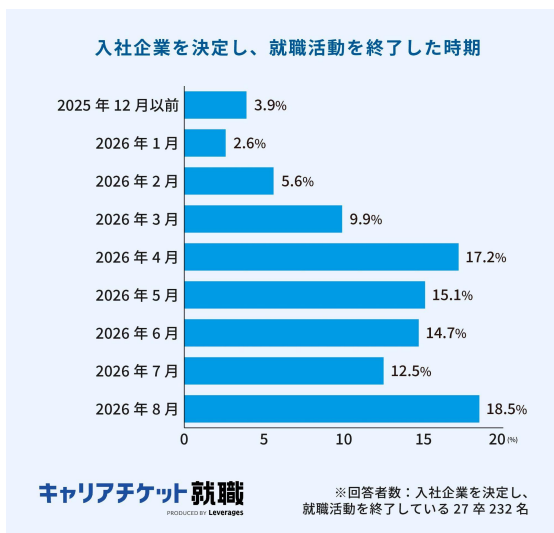
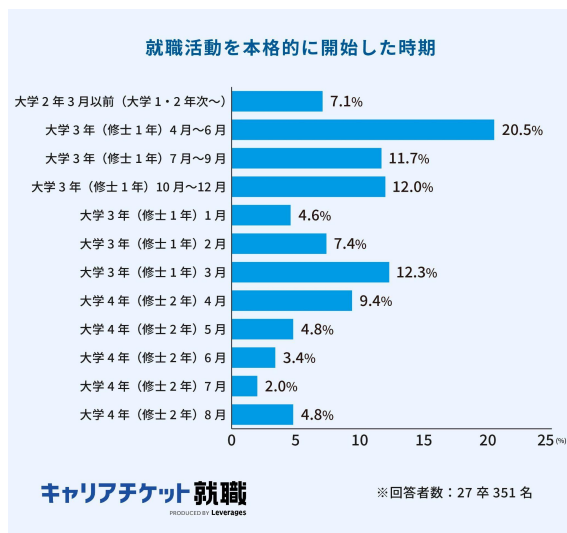
就職活動の本格開始時期は「大学3年4月～6月(20.5%)」が最多となり、「大学2年3月以前(大学1・2年次～)(7.1%)」と「大学3年(修士1年)7月～9月(11.7%)」を合わせると、約4割の27卒学生が大学3年生の夏(9月)までに本格的に就職活動を開始していることがわかりました。

就活を終了した時期については2026年4月～8月(大学4年春～夏)に集中しており、この5ヶ月間で全体の78.0%*3を占める結果となりました。特に「2026年8月(18.5%)」が最も高い割合を示しています。

また、就活を終了した学生の開始時期と終了時期を掛け合わせたところ、就活期間は中央値で6ヶ月(平均7.6ヶ月)でした。終了時期が2026年4～8月に集中する一方で開始時期は分散しているため、大学3年4～12月に開始した学生の平均就活期間は9.3ヶ月、大学3年1～3月開始は3.0ヶ月、大学4年4月以降

開始は1.5ヶ月と、早く始めた学生ほど就活期間が長くなる構図です。早期化は就活を早く終わらせることには必ずしもつながっておらず、活動期間そのものが長期化している実態がうかがえます。

*3「2026年4月(17.2%)」「2026年5月(15.1%)」「2026年6月(14.7%)」「2026年7月(12.5%)」「2026年8月(18.5%)」を回答した割合の合計



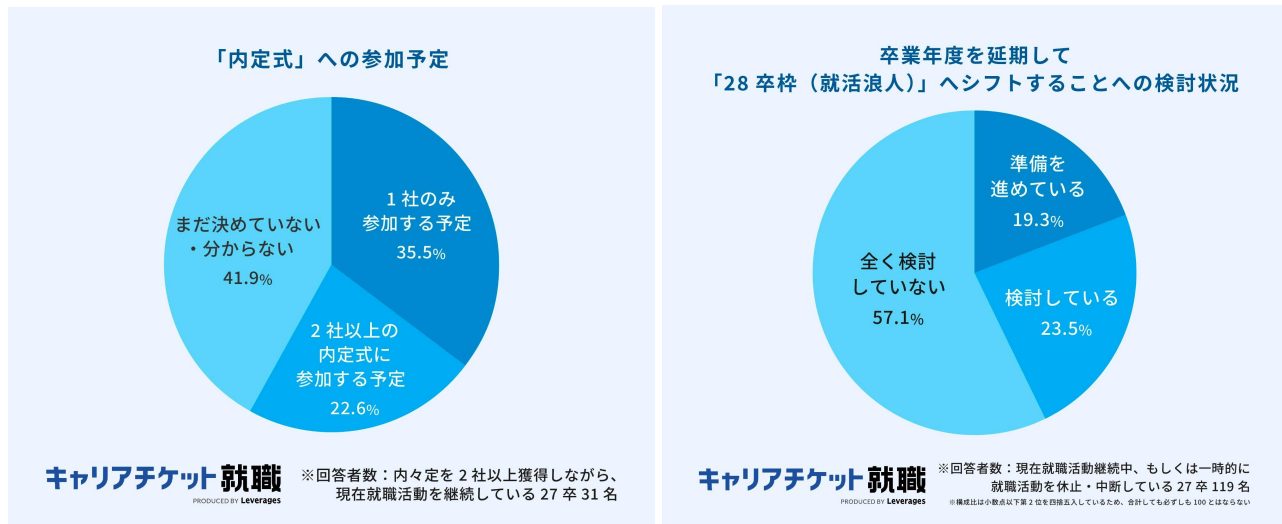
2.就活継続層の4割超が「現時点で28卒卒へのシフトを検討」、内定式への複数社参加を予定する声も

現在も就職活動を継続している学生の状況を見ると、決断を保留したまま就活・比較検討を続ける層や、早期化に苦戦し翌年卒へシフトする層の実態が見受けられます。

内々定を持ちながら「納得がいくまで就職活動を継続している」学生は全体の11.1%でした。そのうち、複数社内々定を保持している学生に対して10月の内定式の参加予定について聞いたところ、一部の学生からは「2社以上の内定式に参加する予定」といった回答も見られ、秋の内定式直前まで入社企業を1社に絞りきれず、選択肢を保留し続けている様子が見受けられます。

一方で、現在就職活動を継続、もしくは休止している学生のうち42.8%*4が「現時点で28卒枠（就活浪人）へのシフト・準備を検討している」と回答しました。早期化が進む中で準備不足を感じたり、納得のいく結果が得られなかった学生の一部が、大学4年夏の時点で早くも翌年卒枠への切り替えを選択肢として視野に入れ始めている実態が明らかになりました。

*4 現在就活継続・休止層のうち、27卒枠での就活を諦め（または再検討し）、卒業年度を延期して「28卒枠（就活浪人）」へシフトすることについて「準備を進めている（19.3%）」「検討している（23.5%）」を回答した割合の合計

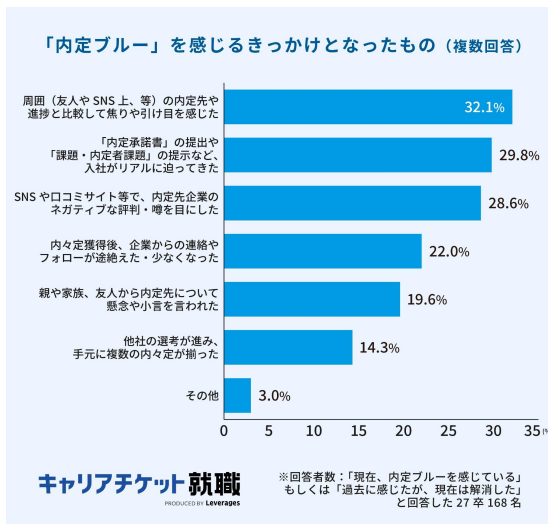
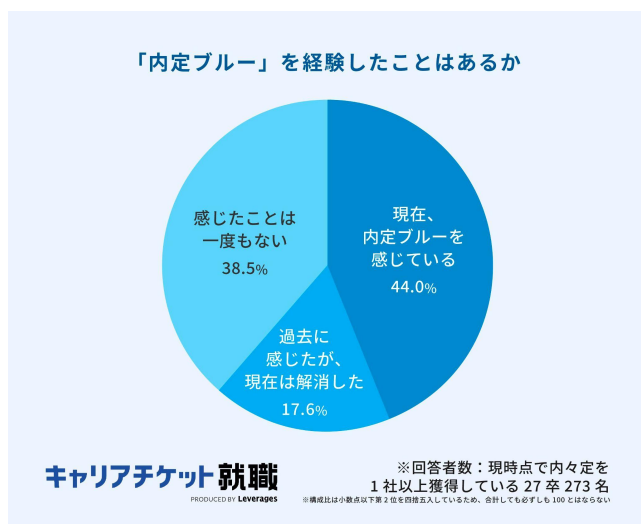


3. 現在「内定ブルー」を実感している学生は4割以上、主な要因は「周囲との比較」や「SNSや口コミ上のネガティブな噂」

内々定獲得者のうち「内定ブルーを経験した」学生は61.6%*5に上り、現在進行形で内定ブルーを感じている学生も内々定獲得者の44.0%に達しています。

きっかけは、「周囲の内定先や進捗と比較して焦りや引け目を感じた（32.1%）」が最多となり、次いで「『内定承諾書』の提出や課題の提示など、入社がリアルに迫ってきた（29.8%）」「SNSや口コミサイトで、内々定先企業のネガティブな評判・噂を目にした（28.6%）」「内々定獲得後、企業からの連絡やフォローが途絶えた・少なくなった（22.0%）」が続いています。他者との比較や入社へのプレッシャーに加え、内々定後のフォロー不足や外部情報が心理的な不安を引き起こす大きな要因になっています。

*5 「現在、内定ブルーを感じている（44.0%）」「過去に感じたが、現在は解消した（17.6%）」を回答した割合の合計



〈キャリアチケット事業本部 本部長 手賀 亮汰のコメント〉

今回の調査から、27卒の就職活動では8月末時点で7割近くが就活を終了している一方で、就活継続層の4割超が「就活浪人（28卒シフト）」を検討し始めるなど、学生の就活状況や心理の二極化・多様化が浮き彫りとなりました。また、内々定獲得者の4割以上が「現在も内定ブルーを感じている」と回答しており、周囲との比較や外部情報、リアルに迫る入社へのプレッシャーなどから、就活を終了し入社先を決めた後であっても自分の選択や将来に不安を抱えている様子が見受けられます。

企業は、選考段階から内定後に至るまで単に選考プロセスを進めるだけでなく、学生の不安に寄り添う誠実なコミュニケーションを重ねることが、内定ブルーの軽減や納得感のある入社へと繋がっていくのではないのでしょうか。

現時点で採用数が計画に届いていない企業においては、翌年卒枠を視野に入れ始めた層の存在に着目し、秋以降の採用枠の設置や再チャレンジを歓迎する選考ルートの用意など、アプローチ手法を柔軟に見直すことが、これまで接触できていなかった学生との接点を広げる有効な手段の一つとなりそうです。

◆手賀 亮汰氏・プロフィール キャリアチケット事業本部 本部長

早稲田大学卒業後、マーケティング部に配属。現在に至るまでに複数の新規事業の立上げに参画し、プロダクトマネージャーやマーケティング責任者、事業部長を歴任。

2023年よりキャリアチケット事業本部 本部長に就任。



<調査概要>

調査対象:2027年卒業予定の学生

調査年月:2026年8月28日～31日

調査方法:インターネット調査

回答者数:351名

調査主体:レバレッジズ株式会社

実査委託先:GMOリサーチ&AI株式会社

キャリアチケット就職(<https://careerticket.jp/>)

キャリアチケット就職は、新卒学生向けのキャリア支援サービスを展開しています。エージェントやスカウトサービスを軸に、一人ひとりに寄り添ったキャリア支援を重視し、学生と企業の最適なマッチングを追求。就職活動の早期化・複雑化が進むなか、あらゆる学生が納得感のある選択をできるよう、手厚いサポートを提供しています。

レバレッジズ株式会社(<https://leverages.jp/>)

本店所在地:東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア24階 /25階

代表取締役:岩槻 知秀

資本金:5,000万円

設立:2005年4月

事業内容:IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業、SaaS事業、M&Aコンサルティング事業 など

「社会課題の解決」を軸に、IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業・SaaS事業、M&Aコンサルティング事業など、国や業界をまたいだ様々な領域でサービスを展開。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2025年度は年商1700億※を突破しました。業界を絞らないポートフォリオ経営と、各分野のスペシャリストが集うインハウスの組織体制で、時代を代表するグローバル企業を目指します。(※会計基準変更後)

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL:03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp